

平成25年度事業報告

本会は、平成25年度より「公益社団法人」に移行しました。そのため、これまでの公益目的事業を更に充実させるとともに、公益法人としての適正な運営に努めました。

また、公益法人制度に対応する諸規程の整備を行いました。

活動・運営においては、“地域社会への貢献と地域企業の発展”の活動理念に則り、支部・青年部会・女性部会と連携協調して次の活動・運営を行いました。

(1) 公益目的事業の開催

法人会活動の原点である「税知識の普及及び税に関する啓発活動」は、次代を担う若者を対象に、以下の通り開催いたしました。税を考える週間に指宿商業高校で「税に関する学習会」、12月に北指宿中学校で「租税教室」、小学校5～6年生・中学校1～3年生が応募した「税の絵はがきコンクール」、地元で開催されるイベントにおいて「税金クイズ」等を開催しました。

また、地域社会への貢献を目的に、市内全域において地域の要請に応じた各種活動を実施。毎年行っている、指宿養護学校での年2回の清掃奉仕作業や、市内学校への女性部会員手作り雑巾の贈呈事業等を行うほか、部会、支部では地域の特性を活かした「地域イベントの支援」「体験活動」「美化活動」等を行いました。

(2) 地域企業の支援を目的とした活動の実施

企業経営の健全化並びにその発展向上に資することを目的に、税務・経営等に関する様々な研修会を開催。「新春講演会」は著名な講師を招き開催。市内全世帯に新聞折り込みで告知し約200名の参加がありました。また税務署から講師を招き「税務研修会」を開催し、税務について学ぶ機会を提供しました。

(3) 組織運営と財政基盤の強化

近年減少している会員並びに福利厚生制度の加入推進を図りましたが、減少傾向は変わらず、今後も引き続き強化の課題となりました。

(4) 公益法人が求める法人会運営・管理の強化

公益法人の適正な運営を確保するため、諸規程の整備や理事によるガバナンスの確立を行い、組織管理の強化に努めました。